

# FAX飛躍

# JR東労組東京地本青年部

## 国土交通省からJR東日本に警告文書!!

### 国交省、JR東日本に警告文書 相次ぐ障害、10連休や受験影響

5/2(木) 18:25配信



10連休中の4月28日に発生した上越新幹線のトラブルなど、利用客への影響が大きい時期に輸送障害を相次いで起こしたとして、国土交通省がJR東日本に警告文書を出したことが2日、同社関係者への取材で分かった。

JR東では、昨年末や今年の国公立大の2次試験当日にもトラブルが発生。警告では防止体制の検証と改善策の報告を求めた。国交省が個別トラブルの再発防止を求めることはあるが、相次ぐ輸送障害を問題視して、警告するのは異例だ。

関係者によると、警告文書は4月29日付。

JR東は「結果的に重大な事象が続き、誠に申し訳ない。再発防止に全力を挙げよう」とのコメントを出した。

**GW真つただ中ですが、4月29日上越新幹線変電所トラブルや4月26日東北・山形新幹線の車両故障。また在来線において入試試験日に輸送障害が発生させました。5月2日も上越新幹線でブレーキ故障により運休が発生してきます。5月3日も伊東線でポイント不転換のトラブルがありました。社会的に多大な影響を与えたことに対して、国土交通省から遺憾として「警告文書」が出されました。組合員がいくら努力しても設備などに起因しているトラブルが生れば、ただただ現場に余計な苦勞と負担になります。ただただ現施策に問題があるのではないのでしょうか。**

正直申し上げて、現在のJR東日本は三大輸送期間(正月・お盆・GW)を担えない状態に陥っているのではないのでしょうか。この状態でお客様が選んでいただけの交通機関なのかは甚だ疑問です。設備や機械は故障します。だからこそ日々のメンテナンスや点検が必要なのです。壊れないことやリスクを想定外として施策に組み込まないことは、結果として崩壊するのは火を見るよりも明らかです。この現場の苦勞と問題意識を持ち、改善させるのが労働組合です。この本来業務である輸送サービスが、まともに提供できないことは、私たちにとても実に遺憾であるといえます。上の記事にコメントが寄せられています。会社が、会社に対して呆れや諦めたコメントが多く見受けられます。つまり、**社会からこの会社が見放され始めた**と言って過言ではないと考えます。利用者離れとストによる運行停止が**国鉄破綻の主な原因と会社は言っているようですが、まさにそのような状態に向かっている**ことを自覚すべきです。この問題に青年部として向き合っていきます。

## いよいよ明日からゴールデンウィーク!



いよいよ明日からゴールデンウィークが始まります。今年のゴールデンウィークは、10連休以上の連休や、多客に伴うトラブルも想定されます。中央線特急では新着座席サービスが導入されて初めての三大輸送期間となり得ます。また、鉄道妨害も依然として発生しており、注意しなければなりません。業務上の問題点や着段と違うと感じたことは、東労組役員にどんな小さなことでも報告・連絡・相談してください!

最近発生している列車妨害  
・2月から3月にかけて発生(総武緩行線)車内のドアロックの蓋が壊される事象が連続して発生  
・3月に連続して発生(品川駅)折返し停車中の上野東京ライン・常磐線の列車で中間転台に侵入し「行先設定」が扱われ、配電盤の蓋をあけられる  
・4月15日(東京駅)到着し、折返し発車中の新幹線車内の座席の上に針が置いてあるのを清掃係員が発見  
・4月25日(郡須塩原)保守基地の門扉が壊されているを発見監視カメラを確認したところ、車が衝突していたと判明

本来業務に集中し、安全・安定輸送を守り抜こう!

# 青年部からしっかり輸送サービスが出来る施策と企業にしよう!